

歳出総額は184億5,841万円



大更学童保育等施設 (旧・大更公民館)



おひあわせ
折合橋緊急補修工事現場

各会計の決算状況 (金額は、1万円未満を四捨五入)

会計名	収入額	支出額	
一般会計	191億 291万円	184億5,841万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	34億9,821万円	34億2,464万円
	後期高齢者医療	2億1,956万円	2億1,948万円
	老人保健	1,825万円	1,625万円
	国民健康保険(診療施設勘定)	3億3,891万円	3億 976万円
	公共下水道事業	7億2,509万円	6億7,516万円
	農業集落排水事業	12億5,766万円	12億5,733万円
企業会計	浄化槽事業	5,493万円	5,172万円
	収益的収支	6億9,741万円	6億9,241万円
	資本的収支	5,534万円	1億5,951万円
	水道事業	4億8,439万円	4億6,946万円
資本的収支	3億 982万円	4億9,922万円	

一般会計歳入

平成28年度から、地方交付税の算定が一本算定に変更になり、減るわけだが、将来的な財政計画の見直しを伺う。

減額がないよう保障されているが、平成28年度から33年度まで、段階的に減る。それにより、将来の予算規模は、当初予算額で140億円ぐらい、決算額で160億円ぐらいかと思う。実質公債費比率は現在の15割にとどめたいと考えている。

【財政用語・一口解説】

- ▼ **一般会計**：税を主な収入源とし、福祉や教育など基本的施策を行うための会計
- ▼ **地方交付税**：所得税など国税から財政状況に応じて交付される税金
- ▼ **地方交付税の算定**：合併特例法に基づき、合併後10年間は、合併しないものとみなして、合併前の旧自治体分の地方交付税を合算して算定し交付される(合併算定替)が、合併後10年を経過した後は、5年間かけて本来の算定基準に戻して交付額を計算し交付する「一本算定」に改められる。
- ▼ **特別会計**：公共下水道事業など特定の事業を特定収入(使用料など)で賄う場合に、その経理を一般会計から区別するために設けられた会計

9月13日から16日まで、決算特別委員会(関善次郎委員長、三浦侃副委員長)を議場で開催しました。議長を除く議員23人で構成するこの委員会では、平成21年度一般会計、特別会計8会計および西根病院事業会計と水道事業会計の企業会計2会計を審議。すべて認定することに決まりました。ここでは、9月8日に実施した現地調査の様子とともに、主な質疑の内容などを紹介します。

問 予算書に、平館・赤川橋梁費の設計予算が載っているが、この具体的な内容は。
答 西根バイパスの工事が26年度完成の計画で進められている。これに合わせて赤川橋を完成させる予定である。
◎八幡平市水道事業会計補正予算(第2号)
問 松尾地区山道集落で水道の水圧が低く、たいへん困っている。
答 この地区の水圧が下がっているのは承知している。この近くで寄木配水池からの管が接続となっているが、水圧が違つたため止めている。今後、減圧弁などを設置するなどし、対応していく。
◎松尾地区コミュニティセンター建設工事(建築)の請負契約の締結に關し議決を求めることについて
 松尾地区コミュニティセンター建設工事(建築)について、3億7327万5000円で、(株)高建工業(有)山金組特定建設工事共同企業体(代表者(株)高建工業・高橋ミツエ代表取締役)と請負契約を締結しようとするものです。

議会の動き (6月18日から9月2日まで)

- ◎6月
 - ▶18日～24日 平成22年第2回定例会
 - ▶27日 八幡平市消防演習
 - ▶30日 田頭・平笠地区浄化センター通水式
- ◎7月
 - ▶1日 平成22年度岩手山開き式
 - ▶1日～2日 全国高速自動車道市議会協議会正副会長・監事・相談役市事務局長会議
 - ▶2日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期成同盟会平成22年度総会
 - ▶5日 全国市議会議長会基地協議会第73回理事会
 - ▶9日 議会運営委員会
 - ▶12日 盛岡地区広域行政事務組合議会7月臨時会
 - ▶15日 葛巻町町村合併55周年・(社)葛巻町畜産開発公社創立35周年・葛巻高原食品加工(株)創立25周年記念式典
 - ▶16日 岩手県選出国議員への実行運動
 - ▶25日 第19回岩手山焼走りマラソン全国大会開会式・表彰式
 - ▶27日 北海道砂川市議会「公正会」「市民クラブ」合同行政視察
 - ▶28日 第57回岩手郡町村議会議員全体研修会・交流会
 - ▶29日 第5回八幡平市福祉運動会
 - ▶30日 第3回はちまんたい産直大集合オープニングセレモニー
- ◎8月
 - ▶1日 沖縄県名護市40周年記念式典・祝賀会
 - ▶4日 議会運営委員会
 - ▶4日 平成22年第3回臨時会
 - ▶4日 むらさき苑夏まつり
 - ▶5日 第48回知事を囲む懇談会
 - ▶7日 第19回りんどう苑夏まつり
 - ▶8日 第57回岩手県相撲選手権大会
 - ▶9日 雫石東八幡平線道路促進協議会総会・研修会
 - ▶15日 平成22年度八幡平市成人式
 - ▶15日 第5回八幡平市夏まつり
 - ▶19日 第37回東北総合体育大会ラグビーフットボール競技大会開始式
 - ▶20日 第37回東北総合体育大会ライフル射撃競技大会開始式
 - ▶26日 平成22年度高齢者ニュースポーツ大会
 - ▶27日 第37回東北総合体育大会相撲競技会歓迎レセプション
 - ▶28日 第37回東北総合体育大会相撲競技大会開会式
 - ▶30日 議会運営委員会
 - ▶30日 宮古市・八幡平市市議会議員合同研修会

請願3件を採択、発議案は2件を原案可決

9月定例会では、請願4件を審査しました。その結果、3件を採択、1件を一部採択とし、議員発議で意見書2件を国などに提出することが決まりました。

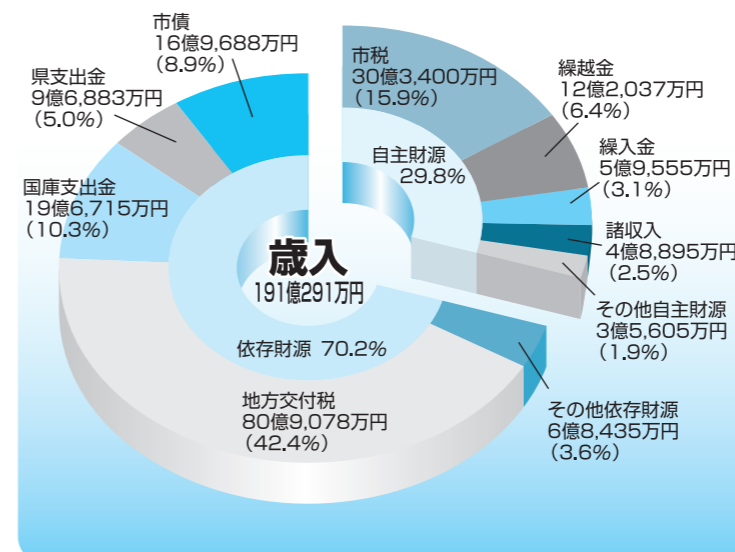
- 産業建設常任委員会が審査
 - ◎住宅リフォーム支援事業を新築増築まで拡大する請願(請願者(岩手県建築士会盛岡支部八幡平分会長・工藤民一))
 - この請願は、住宅リフォーム支援事業の対象を、住宅リフォームから新築、増築工事まで拡大することを求める内容です。
 - 結論 全会一致で採択
 - ◎市道中谷地南線の整備舗装および橋幅改良を求める請願(請願者(南平笠・高橋正志))
 - この請願は、市道中谷地南線(吉田耕一さん宅から東方面、市道日影山蟹沢線までの道路)の整備舗装、中谷地川に架かる橋の橋幅改良を求める内容です。
 - 結論 全会一致で一部採択(橋に関する部分を除いて採択)
 - ◎過剰米対策に関する請願(請願者(新岩手農業協同組合代表理事組合長・田沼征彦))
 - この請願は、過剰米対策において、緊急政府買い入れの実施および22年産米以降の過剰米対策を早急に確立・実施することを求める内容です。
 - 結論 全会一致で採択。併せて、産業建設常任委員会から提出された発議案が可決され、市議会議長
- 教育民生常任委員会が審査
 - ◎私学教育を充実・発展させるための請願(請願者(私学助成をすすめる岩手の会会長・新妻二男))
 - この請願は、過疎地域の私立高校に対する私学助成金の充実を求める内容です。
 - 結論 全会一致で採択。併せて、教育民生常任委員会から提出された発議案が可決され、市議会議長名で内閣総理大臣、衆・参両議院議長ほか、関係大臣および岩手県知事に意見書を提出しました。

歳入のあらまし

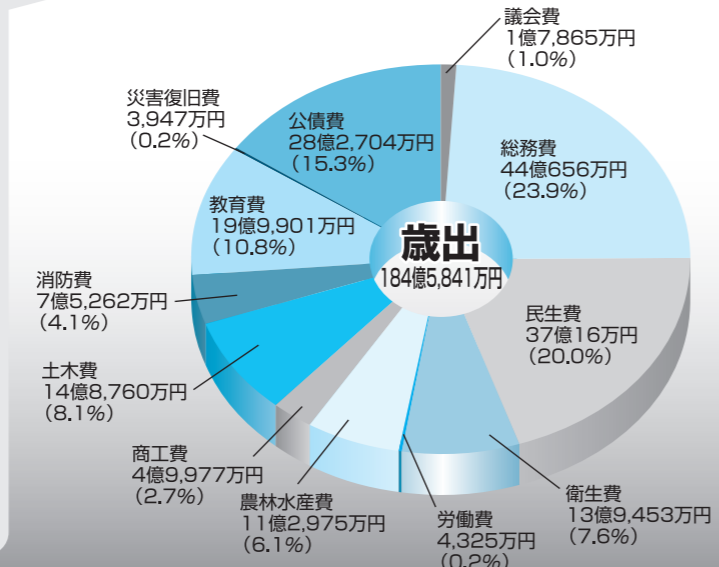
21年度の一般会計歳入の合計は、191億291万円でした。その中で一番の割合を占めるのは、地方交付税の80億9,078万円(42.4%)で、次いで、市税の30億3,400万円(15.9%)、国庫支出金の19億6,715万円(10.3%)などの順となっております。20年度決算と比べると、歳入全体で6億50万円増えました。

また、歳入を財源別にみると、自主財源が56億9,492万円(29.8%)、依存財源が134億799万円(70.2%)で、自主財源比率が20年度と比較して0.8ポイント上昇しました。

平成21年度一般会計歳入の内訳



平成21年度一般会計歳出の内訳



歳出のあらまし

21年度の一般会計歳出の合計は、184億5,841万円でした。歳出の中で一番金額の多かったものは総務費で44億656万円(23.9%)、次いで、民生費の37億16万円(20.0%)、公債費の28億2,704万円(15.3%)、教育費の19億9,901万円(10.8%)などの順となっております。20年度と比較して、災害復旧費が5億3,402万円、公債費が2億9,782万円減額となりましたが、歳出全体としては11億7,638万円の増額となりました。

また、歳出を性質別にみると、公債費や人件費が減少、積立金などが増えています。

問 滞納者に対する差し押さえ件数は。
答 21年度は159件で、預金、給与、年金などを差し押さえしている場合もある。
問 市税収入を過大にみているのではないかと。
答 当初予算では、収入未済額を見ながら計上しており、測定は課税額そのものを計上している。

総務費

問 4年間の集中改革プランの実績結果を数値で示せ。
答 歳入は、約3億6000万円の計画に対し約4億2000万円の実績で達成率114%、歳出は、約24億8000万円の計画に対し約15億8000万円の実績で達成率63.3%であった。

問 協働のまちづくり事業の今後の地域の要望などの見通しは。
答 地域振興協議会をもっと活用してもらうためにも、長期的に推進する。
問 解体工事後の跡地の利活用は。
答 跡地利活用策はない。国

農林水産業費

問 戸別所得補償制度の畑作6品目と市内の対象作物面積はいくらか。
答 畑作6品目は、麦、大豆、てん菜、でんぶん用ばれいしょ、ソバ、菜種である。面積は、麦が14%、大豆が51%、ソバ34%、菜種0.5%である。なお、60%あるほうれんそうは、6品目に入っていない。
問 口蹄疫が発生した場合の初動対策は。
答 家畜の殺処分については、24時間以内に行うこと、死体の埋却は72時間以内に完了し、汚染物品などの埋却も早期に終わるという内容で、対策をつくっていく。

問 米価の下落で、米農家に救済措置を図れないか。
答 本来JAで考えるべきものであるが、対策を考えて市に対し提示・支援依頼があれば考えていく。
問 今年の猛暑で、市の主要作物であるリンドウ、ほうれんそうの生産量、価格はどうか。
答 リンドウは、数量で13%減、金額では17%増とな

から経済対策交付金が交付されているときに不要な建物を壊すことが良いとの結論から解体工事を行った。今後、公売などを考える。



細野小学校解体跡地

問 高校の通学定期の補助金の増額は。
答 近隣市町村の助成額などを参考に、21年度から5%を7%に引き上げた。

民生費

問 出産祝い金の内容、生活保護世帯の決定と推移は。
答 祝い金は第3子以降を出産した場合、一人5万円、昨年度は28人あった。生活保護世帯の決定は福祉事務所で行う。ここ10年で大体139から144世帯で推移しており、昨年度は142世帯であった。
問 老人日常生活用具給付

っており、ほうれんそうは数量で63%、金額で58%の落ち込みである。(8月末時点)
問 耕作放棄地の解消に支援があるか。
答 市農地有効利用対策協議会という組織を進めている。耕作放棄地の解消を行えば、一反歩当たり3万円交付される制度である。

商工費

問 企業誘致の取り組み状況について伺う。
答 企業対策室に職員3人体制を敷き取り組んでいるが、非常に厳しい。短期的な成果を望める状況ではないことから、地道に企業回りをを行い、情報収集に努め



焼走りの湯チップボイラー (概要説明)

事業は今後も進めるのか。また、高齢者世帯などへの火災報知器の設置に協力を。
答 用具給付事業は継続する。火災報知器は、来年度一人暮らし老人などの全世帯に設置を検討中である。
問 高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり事業と一般住宅のリフォーム事業の補助は、別物かどうか。また、前者の補助上限はいくらか。
答 事業の補助は、別々にできる。上限は110万円になる。

労働費

問 観光客満足度調査事業委託と観光案内事業委託のそれぞれの委託先と事業費、内容について伺う。
答 満足度調査は、市観光協会に102万円委託、内容は八幡平地域を訪れる観光客に対しての直接のアンケート実施である。観光案内事業は、市産業振興(株)に278万円委託、内容は、パノラマラインと焼走りエリアから温泉郷エリアにまたがる箇所を草刈りや雑木の除去、支障木の撤去などである。

焼走りの湯チップボイラーの導入目的は何か。
答 燃料費の軽減と林業振興である。特にこのボイラーはパーク(樹皮)も利用できるため、これまで廃棄物だったものが燃料として活用できるので、製材業者の期待は大きい。

問 山ぶどう加工施設整備の計画はどうか。
答 単独で施設整備するよりも、これまでの葛巻町との信頼関係を大切にしているかどうか。市が事業主体となつて施設整備する考えはない。
問 第三セクター等経営検討委員会の業務内容は。
答 市が出資している産業振興(株)、峡雲荘、地熱試験研究所の3社の経営改善などについて提言をいただいている。
問 安比高原の「さわやかトイレ」の改善状況は。
答 最初に利用した水が地下水だったため、赤水で便器が黒く汚れた色になった。その後、上水道に切り替えしたが、色の付いた便器を替える必要がある。改善を検討しているところである。

- ▶ **企業会計**：主にその事業収入で賄うことが求められる事業を管理するための会計。水道事業や西根病院事業など
- ▶ **収益的収入・支出**：事業年度の企業の経営活動に伴って発生が予定されるすべての収益と、それに対応するすべての費用
- ▶ **資本的収入・支出**：企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良や企業債償還金などの支出と、その財源となる収入
- ▶ **歳入**：市に入るお金
- ▶ **自主財源**：市税や市営住宅使用料など、市が独自に集めるお金
- ▶ **依存財源**：地方交付税や国庫支出金、県支出金など、国や県の意思により定められ、交付されるお金
- ▶ **市税**：市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税
- ▶ **繰入金**：当該年度に使用せずに翌年度へ繰り越したお金
- ▶ **繰入金**：積立金を取り崩し、または、ある会計から別な会計に繰り入れられるお金
- ▶ **市債**：建設事業などで借り、長期に返済することになるお金
- ▶ **歳出**：市が使うお金
- ▶ **議会費**：市議会の運営のために使うお金
- ▶ **総務費**：行政全般の事務に関する経費、財産管理などに使うお金
- ▶ **民生費**：障がいがある方や高齢者の支援、子育て支援や生活保護などに使うお金
- ▶ **衛生費**：予防接種、健康診断、ごみ処理などに使うお金
- ▶ **労働費**：雇用確保のための作業員賃金や委託費用など
- ▶ **農林水産業費**：農業や林業振興に使うお金(花き研究開発センターなどの経費も含まれます)
- ▶ **商工費**：商工業の振興や観光イベントなどに使うお金
- ▶ **土木費**：道路補修や除雪、市営住宅の管理などに使うお金
- ▶ **消防費**：消防署の経費や消防団員の報酬、屯所の建設費など
- ▶ **公債費**：市債を返済するために支払うお金